

平成22年1月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年12月11日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 マルタイ

コード番号 2919 URL <http://www.marutai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒見 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 本山 勝義

TEL 092-807-0711

四半期報告書提出予定日 平成21年12月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年1月期第3四半期の業績(平成21年2月1日～平成21年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年1月期第3四半期	4,882	4.3	313	△13.7	329	△12.8	175	△46.7
21年1月期第3四半期	4,680	△11.3	363	—	378	—	329	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年1月期第3四半期	30.73	—
21年1月期第3四半期	57.64	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年1月期第3四半期	7,155	—	5,519	—	77.1	966.86
21年1月期	7,185	—	5,385	—	74.9	943.36

(参考) 自己資本 22年1月期第3四半期 5,519百万円 21年1月期 5,385百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年1月期	—	0.00	—	—	—
22年1月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年1月期の業績予想(平成21年2月1日～平成22年1月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	0.1	350	△30.1	360	△30.8	200	△50.9	35.04

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年1月期第3四半期 5,760,000株 21年1月期 5,760,000株

② 期末自己株式数 22年1月期第3四半期 51,500株 21年1月期 51,400株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年1月期第3四半期 5,708,592株 21年1月期第3四半期 5,709,751株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ[定性的情報・財務諸表等]3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における国内景気は、政府による経済対策や輸出及び生産の持ち直しから最悪期を脱しましたが、まだ景気は下げ止まった状況で推移いたしました。

食品業界ではいまだ消費者の低価格志向の傾向が続く中、食品に対する値下げ圧力を強く受けて食品全般が値下がりしており、また大手量販店を中心にPB商品やオープン商品が増えるなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社は主力製品の棒ラーメンや長崎皿うどんの付加価値向上を図ることで商品力の強化に努め、地元有名店とのコラボレーションによる新商品開発を積極的に進めて新たな市場開拓に力を入れてきました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は、48億82百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

また、利益面につきましては、原材料費等の増加などの影響によって、営業利益は3億13百万円（前年同期比13.7%減）、経常利益は3億29百万円（前年同期比12.8%減）、四半期純利益は1億75百万円（前年同期比46.7%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 当第3四半期末の財政状態

当第3四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ29百万円減少の71億55百万円となりました。これは、主に売上債権が減少したことによるものです。

負債につきましては、前事業年度末に比べて1億63百万円減少の16億36百万円となりました。これは、主に仕入債務が減少したことによるものです。

純資産につきましては、前事業年度末と比べて1億34百万円増加の55億19百万円となりました。これは、繰越利益剰余金、また有価証券評価差額金が15百万円増加したことによるものです。

(2) 当第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金が1億36百万円増加しましたが、定期預金の預入による支出が2億50百万円、配当金の支払額が57百万円ありましたので、前事業年度末に比べて2億29百万円減少し、資金残高は3億73百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億36百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額が1億45百万円ありましたが、税引前四半期純利益が3億17百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億83百万円となりました。これは主に定期預金の預入による支出が2億50百万円及び有形固定資産の取得の支出が44百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、83百万円となりました。これは主に配当金の支払額57百万円、及び借入金の返済額26百万円等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年1月期の通期業績予想につきましては、平成21年3月19日に公表しました業績予想に変更ありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 繰延税金資産及び負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、一時差異の発生状況等について前事業年度末から著しい変化がないと認められるため、前事業年度末において使用した将来の業績予想及びタックス・プランニングを利用しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、これにより損益に与える影響はありません。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社の機械装置の耐用年数については、第1四半期会計期間より法人税法の改正を契機として見直しを行っております。

これにより損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,467,026	1,446,814
受取手形及び売掛金	1,689,777	1,805,763
有価証券	696,295	656,107
製品	111,995	89,205
原材料	102,065	90,007
仕掛品	45,765	30,395
繰延税金資産	33,193	23,754
その他	19,864	24,529
流動資産合計	4,165,984	4,166,577
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	293,991	295,709
機械及び装置（純額）	226,736	234,975
土地	913,241	913,241
建設仮勘定	31,000	31,000
その他（純額）	54,095	46,736
有形固定資産合計	1,519,064	1,521,664
無形固定資産		
7,398		7,187
投資その他の資産		
投資有価証券	1,171,596	1,174,939
関係会社社債	198,708	198,444
繰延税金資産	18,633	36,689
その他	76,190	77,204
貸倒引当金	△3,500	△3,500
投資その他の資産合計	1,461,629	1,483,778
固定資産合計	2,988,092	3,012,630
繰延資産		
株式交付費	1,547	6,189
繰延資産合計	1,547	6,189
資産合計	7,155,624	7,185,397

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	959,775	1,061,055
短期借入金	16,000	42,000
未払金	308,245	311,737
未払法人税等	95,798	99,662
賞与引当金	67,285	28,843
その他	39,122	85,872
流動負債合計	1,486,227	1,629,172
固定負債		
退職給付引当金	125,497	129,466
役員退職慰労引当金	24,586	41,514
固定負債合計	150,083	170,981
負債合計	1,636,311	1,800,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208,080	1,208,080
資本剰余金	1,212,011	1,212,011
利益剰余金	3,146,431	3,028,085
自己株式	△30,453	△30,411
株主資本合計	5,536,069	5,417,766
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△16,756	△32,522
評価・換算差額等合計	△16,756	△32,522
純資産合計	5,519,313	5,385,243
負債純資産合計	7,155,624	7,185,397

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年10月31日)
売上高	4,882,743
売上原価	2,859,625
売上総利益	2,023,117
販売費及び一般管理費	1,709,674
営業利益	313,443
営業外収益	
受取利息	17,301
受取配当金	5,460
その他	7,643
営業外収益合計	30,405
営業外費用	
支払利息	238
たな卸資産廃棄損	7,786
株式交付費償却	4,642
その他	1,422
営業外費用合計	14,090
経常利益	329,758
特別損失	
固定資産除却損	675
役員退職慰労金	10,953
投資有価証券評価損	435
特別損失合計	12,065
税引前四半期純利益	317,693
法人税、住民税及び事業税	144,288
法人税等調整額	△2,026
法人税等合計	142,261
四半期純利益	175,431

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年2月1日 至 平成21年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	317,693
減価償却費	56,218
長期前払費用償却額	915
ソフトウェア償却費	1,607
株式交付費償却	4,642
賞与引当金の増減額 (△は減少)	38,442
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,850
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,969
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△16,928
受取利息及び受取配当金	△22,761
投資有価証券評価損益 (△は益)	435
支払利息	238
有形固定資産除却損	675
売上債権の増減額 (△は増加)	115,986
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△50,082
仕入債務の増減額 (△は減少)	△102,844
未払金の増減額 (△は減少)	△10,478
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△34,320
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,752
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△724
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	1,300
小計	282,948
法人税等の支払額	△145,968
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,550,000
定期預金の払戻による収入	1,300,000
有価証券の売却及び償還による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△44,805
無形固定資産の取得による支出	△1,818
投資有価証券の取得による支出	△113,954
投資有価証券の売却による収入	3,224
貸付けによる支出	△1,971
貸付金の回収による収入	769
利息及び配当金の受取額	25,208
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△26,000
自己株式の取得による支出	△42
配当金の支払額	△57,065
利息の支払額	△238
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△229,597
現金及び現金同等物の期首残高	602,921
現金及び現金同等物の四半期末残高	373,324

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他の情報

当第3四半期累計期間（自平成21年2月1日 至平成21年10月31日）販売品目別販売実績

(単位千円、単位未満端数切捨)

販売品目別	金額	構成比
棒状ラーメン	1,235,520	25.3 %
カップめん	1,960,584	40.2
袋めん	1,661,275	34.0
その他	25,362	0.5
合計	4,882,743	100.0

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間(平成20年2月1日～10月31日)

科目	前年同四半期 (平成21年1月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	4,680,127
II 売上原価	2,688,691
売上総利益	1,991,436
III 販売費及び一般管理費	1,628,263
営業利益	363,172
IV 営業外収益	32,928
V 営業外費用	18,005
経常利益	378,094
VI 特別利益	20
VII 特別損失	3,418
税引前四半期純利益	374,695
税金費用	45,614
四半期純利益	329,081

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間 (平成20年2月1日～10月31日)

	前年同四半期 (平成21年1 月期第3四半期)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前第3四半期純利益	374,695
減価償却費	62,100
長期前払費用償却額	915
ソフトウェア償却費	2,121
株式交付費償却額	4,642
賞与引当金の増加額	50,628
退職給付引当金の増加額	5,429
役員退職慰労引当金の増加額	561
受取利息及び受取配当金	△24,681
投資有価証券償還益	△20
投資有価証券評価損	2,967
支払利息	283
有形固定資産除却損	87
売上債権の減少額	299,425
たな卸資産の増加額	△50,295
仕入債務の減少額	△183,088
未払金の減少額	△144,271
未払消費税等の増加額	22,599
その他流動資産の減少額	10,487
その他流動負債の減少額	△367
その他固定資産の減少額	8,713
小計	442,935
法人税等の支払額	△8,881
営業活動によるキャッシュ・フロー	434,054
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△350,000
定期預金の払戻による収入	600,000
従業員長期貸付金の増加額	△47
有価証券の取得による支出	△500,000
有価証券の売却等による収入	700,000
投資有価証券取得による支出	△103,130
投資有価証券売却等による収入	2,000
有形固定資産の取得による支出	△585,823
利息及び配当金の受領額	27,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	△209,027
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純減少額	△26,000
利息の支払額	△283
自己株式取得による支出	△82
配当金の支払額	△57,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,393
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△493
V 現金及び現金同等物の増加額	141,138
VI 現金及び現金同等物の期首残高	324,828
VII 現金及び現金同等物の第3四半期末残高	465,967

(3) その他の情報

前第3四半期累計期間（自平成20年2月1日 至平成20年10月31日）販売品目別販売実績

（単位千円、単位未満端数切捨）

販売品目別	金額	構成比
棒状ラーメン	1,118,990	23.9 %
カップめん	1,997,691	42.7
袋めん	1,523,954	32.6
その他	39,491	0.8
合計	4,680,127	100.0